

銅・アルミレポート

橋本アルミ株式会社取締役

橋本 健一郎

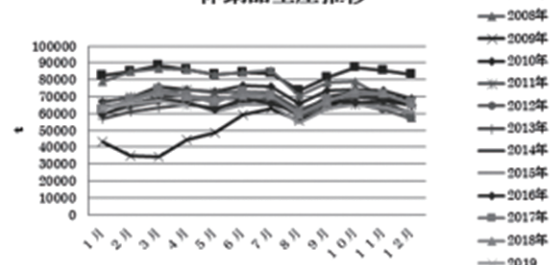


5月の銅の概況及び6月の見通し (3)

■前月の国内指標

日本伸銅協会発表の伸銅品生産推移(速報)によれば前年比-7%の6万4,960 t。

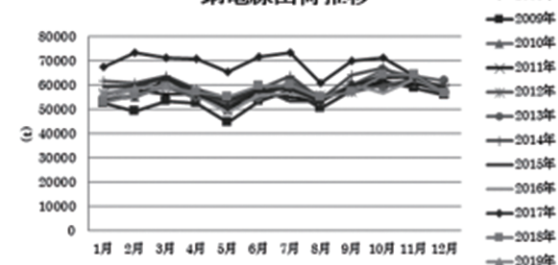
伸銅品生産推移



出典 日本伸銅協会

日本電線工業会発表の出荷速報(推定)によると銅電線出荷量は、前年比+5.2%の5万9,600 tであった。

銅電線出荷推移



出典 日本電線工業会

■国内概況まとめ

【自動車】

日本自動車工業会によると3月の自動車生産台数は前年比-4.1%の90万593台であった。輸出(4月)は42万2,646台で前年同月比-2.2%。

【販売】

日本自動車販売協会連合会によると3月の自動車販売台数(軽除く)は前年比+4.8%の24万7,338台。

内訳では、乗用車+5.2%、貨物+2%、バス+5.8%。

【住宅】

平成31年4月の住宅着工戸数は7万9,389戸で、前年同月比で5.7%減となった。また、季節調整済年率換算値では93.1万戸(前月比5.8%減)となった。

住宅着工の動向については、前年同月比で5か月ぶりの減少となっており、利用関係別にみると、前年同

月比で持家は増、貸家及び分譲住宅は減となった。

引き続き、今後の動向をしっかりと注視していく必要がある。

【伸銅品生産】

伸銅品生産は、前年比-7%の6万4,960 t。5か月連続減少。伸銅品の14品種のうち、前年同月比プラスは3品種のみ伸銅品全体的に需要に勢いがなくなってきた。

内需は5万4,772 t、-5.1%、4か月連続マイナス。

輸出は1万188 t、-15.9%、6か月連続マイナス。

銅条は2万1,610 t、-5.3%、3か月連続マイナス。

黄銅棒1万5,182 t、-6.7%、4か月連続マイナス。

【電線】

前年比+5.2%の5万9,600 t。内訳では、国内+5.9%、輸出が+18.6%。

【輸出】

電気銅輸出が-24.8%の3万3,448 t。銅スクラップが+118.8%の3万9,596 t。

【輸入】

電気銅が+139.7%の4,103 t。スクラップが+35.6%の1万4,210 t。

【見通し】

自動車は生産が-4.1%。国内販売台数が前年比+4.8%。生産は再びマイナス。生産はマイナスだが販売はプラス今後注視。

伸銅品生産は前年比-7%の6万4,960 t、5か月連続減少。今後マイナスが続くか注視。

【電線】

前年比+5.2%の5万9,600 t。内訳では国内+5.9%、輸出が+18.6%。

銅輸出は製造業の内需停滞及び輸入品の割安感から国内ものが荷余りし輸出が増加。銅輸入は割安感から増加。

【スクラップ景況予想】

流通在庫は価格の急落や大型10連休前の手仕舞い売り、稼働日低下による発生減から少ないのではないかと。需要面に関しては足元の生産状況が徐々に悪化しており減少。

米中貿易戦争による世界景況後退懸念からメーカーの購入意欲は低く、スクラップ販売は当面厳しい。

【LME・為替予想】

今月は米中貿易戦争の動向トランプ米大統領の訪英の動向に左右される。

米中貿易に関しては予想外に悪化の一途を辿っているが6月末のG20で一旦休戦になる事を期待したい。

トランプ米大統領の訪英に関しては次期首相候補のジョンソン氏との直接会談も模索するとみられる。実現すれば、ジョンソン氏には最も重要な同盟国のトップとの緊密な関係を早くもアピールできるはずだが…。

これらを踏まえた6月の銅価格は、5,500-6,000ドル(セツル)との予想。

ドル円値は105円~110円(TTM)を予測。

銅建値に関しては620-700円程度と予測している。

【「5月の銅の概況及び6月の見通し」おわり】